

# 総合情報館

- ②町民に「あまねく」、そして永く親しまれる施設
- ③利用者が使いやすく、職員が作業・管理しやすい施設



外観イメージ

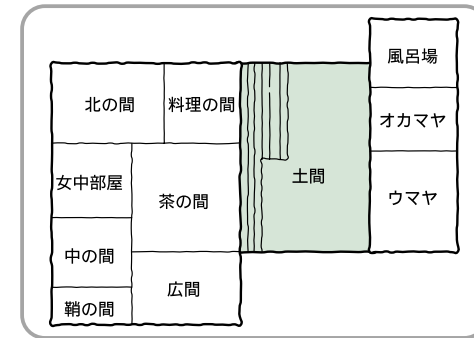
総合情報館基本計画書には、基本方針として4つの項目があげられています。

- ①すべての人に「開かれた総合情報館」
- ②町民に「あまねく」、そして永く親しまれる施設
- ③利用者が使いやすく、職員が作業・管理しやすい施設
- ④「環の町芳賀」にふさわしい、環境に配慮した施設

この基本方針を、内観イメージ図などで順次わかりやすく解説します。5月号に引き続き、今回は、総合情報館基本計画書の基本方針の②と③について掲載しますので、ご意見をお寄せください。

## ②町民に「あまねく」、そして永く親しまれる施設

- 芳賀町内の伝統的な「曲がり屋」形式の平面形や、「縁側」空間を取り入れた施設とする。
- 中央に※<sub>2</sub>アトリウム空間「ふれあい広間」を設け、町民がゆつくりと探し物や相談ができる空間とするともに、わかりやすい施設構成とする。
- 利用者部門を全て1階に配置し、身障者・幼児用トイレや授乳室、カウンターや家具・サインなど、すべて人に優しい※<sub>3</sub>ユニバーサル・デザインで施設計画を行う。
- 周辺の施設群と調和するよう外観や色彩計画とする。

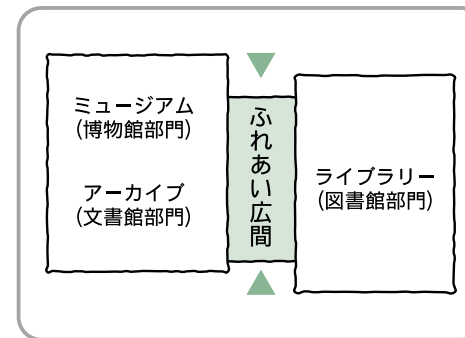


町内にみられる「曲り屋」

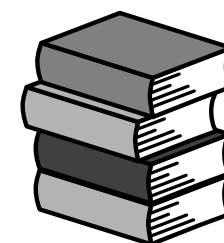
※<sub>1</sub>あまねくひろく  
たくさんの方の皆さんに、いつでも利用され、親しまれるような施設を目指す。

※<sub>2</sub>アトリウム空間はガラス天井などの開放的な空間

※<sub>3</sub>ユニバーサル・デザインは可能な限り、すべての人々に利用しやすい製品と環境のデザイン



「曲り屋」にならった配置



## ＜総合カウンター＞

- 貸出カウンターとレファレンスカウンター(左側の椅子のある場所)が隣り合い利用しやすい。
- 入り口から、すぐわかる所にあり、気軽に調べものの相談などに応じることができます。
- カウンター内の職員は、図書開架室やふれあい広間・交流ラウンジが見渡せ、事務室や展示室へすぐ移動できます。

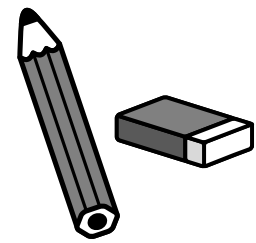
## ③利用者が使いやすく、職員が作業・管理しやすい施設

- 「ふれあい広間」に面した施設中央部に総合カウンターや事務室を配置し、利用者が使いやすく相談しやすい計画とする。
- 職員が効率的に利用者に対してサービスを提供でき、館内の利用者にも目が行きとどく計画とする。
- 安全性の高い構造や機能的な空間構成とし、保全や更新が容易な永続性のあるデザインとする。
- 芳賀町の風土や文化を理解し、その地域のしつらえにあった施設とする。

皆さんのご意見、ご要望をお寄せください

## 町民会館

【0202(067)0000】



## ＜読書・学習コーナー＞

- 外部と一体となった明るい空間とします。
- 簡易間仕切りなどで遮音性を持たせます。



## ＜常設展示室・企画展示室＞

- 郷土資料の展示のほか、様々な展示が行えます。



## ＜視聴覚コーナー＞

- 落ち着いた、館内にあるCDやDVD、ビデオを鑑賞できます。
- 個人用と複数人用を設置します。



## ＜調べもの相談コーナー＞

- 「ふれあい広間」の中心にあり、調べものの相談や情報館内の図書資料などをパソコンで検索できます。

